

## 既存杭の撤去・埋戻しを考慮した地盤調査ガイドラインを一般公開

### ～建替え時の地盤トラブル防止に向けた新ガイドライン～

令和 7 年 6 月 1 9 日

一般社団法人建築基礎・地盤技術高度化推進協議会（ALLF）

一般社団法人建築基礎・地盤技術高度化推進協議会（ALLF）は、建築物の建替えに伴う既存杭の撤去および埋戻しに対応した新たな地盤調査手法を示す技術文書『既存杭の撤去・埋戻しを考慮した地盤調査ガイドライン』を一般公開いたします。

本ガイドラインは、2025 年(令和 7 年) 2 月に会員向けに発行したもので、「2025 年版 建築物の構造関係技術基準解説書」に参考文献として掲載されたことを機に、より多くの技術者に活用していただくことを目的として公開するものです。

#### ■背景と目的

再開発や建替え事業が進む中で、既存建物の杭の撤去と埋戻しは、新たな基礎工事に先立って適切に対応すべき重要な工程となっています。しかし現時点では、撤去工事に関する明確な施工指針や品質管理基準が存在しないため、その後の新設杭工事において偏心・傾斜といったトラブルが発生するケースもあります。

また、撤去された杭の埋戻し部やその周辺地盤において、調査結果からN値や地盤剛性が原地盤より低下（いわゆる“緩み”）する傾向が明らかになってきており、新設杭の配置・設計・施工前に緩みを把握するための地盤調査の重要性が増しています。

本ガイドラインでは、これらの課題に対応すべく、追加地盤調査の方法や位置、調査数量の設定に関する指針を提案しています。

※詳細は協議会ウェブサイトをご覧ください：

<https://all-foundations.org>



#### ■ オンライン講習会も開催予定

本ガイドラインの理解促進を目的とした「無料オンライン講習会（Zoom 開催）」を、2025 年(令和 7 年) 7 月 9 日に予定しております。開催概要やお申し込みは、上記ウェブサイトよりご確認ください。

＜お問合せ＞ 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング7F

一般社団法人建築基礎・地盤技術高度化推進協議会 事務局

Tel:03-5211-0581 Fax:03-5211-0548 e-mail:info@all-foundations.org

既存杭の撤去・埋戻しを考慮した地盤調査ガイドライン

2025年 2月

一般社団法人 建築基礎・地盤技術高度化推進協議会 (ALLF)  
③課題 既存杭撤去に伴う周辺地盤への影響検討委員会

目 次

- 第1章 総則
- 第2章 既存杭の撤去・埋戻しに伴う周辺地盤の影響調査
- 第3章 既存杭の撤去・埋戻しを考慮した地盤調査計画
- 第4章 既存杭の撤去・埋戻しを考慮した新設杭設計・施工上の留意事項
- 第5章 残された課題
- 【付録】
  - 付録1 地盤調査計画の例
  - 付録2 ALLFで実施した地盤調査
  - 付録3 緩みの要因に関する考察
  - 付録4 既存杭撤去・埋戻し地盤における液状化可能性評価のための有効応力解析
  - 付録5 新設杭設計における地盤の緩み等の評価方法
  - 付録6 既存杭を含む敷地地盤における「軽微な変更」に関する検討
  - 付録7 日本建築学会技術報告集  
「既存杭撤去・埋戻しに伴う緩み等の調査および地盤調査計画」

「既存杭の撤去・埋戻しを考慮した地盤調査ガイドライン」の表紙と目次

【団体概要】

団体名: 一般社団法人 建築基礎・地盤技術高度化推進協議会 (ALLF)

会 長: 勅使川原 正臣

設 立: 令和2年4月1日

所在地: 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 7 階

概要: 建築物の基礎構造および地盤技術に関する調査研究、技術ガイドラインの策定、講習会・普及活動などを通じ、安全・安心な建築の実現を目指して活動しています。

URL: <https://www.all-foundations.org/>